

「減収増益」

先日ある建設会社様（土木建築業 社員 25 名）に伺いますと、社長様よりとてもうれしいご報告をいただきました。

「昨年度の決算をした結果、目指していた減収増益を達成することができました。」とのことでした。

私は、涙が出るほどうれしく思いました。

建設業は市場環境が厳しく、売上増はとても困難な状態です。そこで、完成工事高がさがっても、変動費で

ある工事原価をさげて粗利益を増やし、「減収増益」を目指すというのが、中期経営計画書で目指した方向でした。

まさに、中期経営計画どおりに進捗したわけです。

今年度は、このような市場環境であっても増収を目指して、新規事業開発を現在進めているところです。それが花開く予定の3年後まで、まずは現状の商品で勝負しないとイケません。

不透明な時代だからこそ、綿密な計画を立てて着々と、歩みたいものです。

「着々寸進 遙々前進」です。（降旗 達生）

税理士の立場から 2

完工高重視から総収入重視の経営へ

現在の建設業界はこれまでに経験したことのない厳しい経営環境にあります。仕事がない、利益が出ない環境の中で今後生き残るために何をすればよいのでしょうか。

これまでの建設業界では受注・完工高が経営の良否を計る指標として大きく取り上げられ、経審（経営事項審査）においても最重要項目とされています。当然受注・完工高をあげることは重要であります。私共は今後、企業の財務体質の改善、利益構造の変革こそがこの業界で生き残る上での必須命題であると考えています。言い換えれば利益を出し、資金を残せる仕組みを作る、ということ。具体的には以下のような内容です。

資材購入について

- ・まず単価の高い材料を仕入れていないか確認する。
- ・相見積もりを3社以上からとる。
- ・常に最新の資材単価を管理し、無駄をなくす。

下請外注について

- ・下請けとは必ず契約書を交わし、契約内容を徹底する。
- ・どんな小さな短期工事でも注文書を取り交わす。

重機等について

- ・年間の稼働率が50%を切るような重機を所有していないか確認する。不要な重機は売却してしまう。
- ・リース重機は工事終了後速やかに返却する。また、工期は半日でも短縮し、リース料を節約する。

多能工を育てる

- ・いわゆる「手待ち」「手戻り」を無くすために一人一人ができる作業の種類を増やす。工事のスピードアップにつながり、無駄なコストを抑制できる。

結論としてはコスト意識を高く持ち、無駄をなくして効率のよい経営をすることに尽きると思います。（創経 畠中 義雄）

下記 HP の GALLERY では、めずらしい胡蝶蘭が紹介されています。これは必見です

ちょっと休憩... 蘭のお花について... (蘭の原種について)

蘭のことを一般に胡蝶蘭といいますが、学名では、ファレノプシス(Phal)といえます。ファレノプシスの近縁種のドリテス、ファレノプシスとドリテスの交配種ドリテノプシス等も一般的には胡蝶蘭と呼ばれています。自生地は台湾、中国南部、タイ、インドネシア等、熱帯・亜熱帯の広域です。自生地の環境は、高温多湿な密林の樹上かなり高所で、木漏れ日が差し、風通しのよい所に着生しています。普段よく見る胡蝶蘭は、何代にも渡る交配の結果、作出されたもので、原種は花径2~8cm ぐらいの小さくかわいらしいものです。現在は、40種ほどが知られています。

(オーファーム 小川澄人様)

次回(9月号)は、蘭の管理方法を掲載します。お楽しみに。

(オーファーム HP <http://homepage1.nifty.com/ofarm/>)

お客様の声

今回は
株式会社 畔柳組 様

株式会社畔柳組 常務取締役 畔柳 共広様にお話を伺いました。

『ISO を取得しようと思ったきっかけを教えてください?』

認証取得に踏み切ったきっかけは、当初は入札のための指名要件でしたが、推進途中でISOの本質を知り、社内の再整備を目的とした認証取得活動と変化していきました。

『ISO9001 認証取得して良かったことは何ですか?』

ISO9001 取得前には、現場の品質に対して細かな部分でのクレームが起こることがありましたが、認証を取得してからは、クレームがまったく起こらなくなりました。また取得後、社員が胸に名札をつけるようになり、役所サイドからも、社員モラルや製品の品質が良くなったと言われるようになりました。

ISOの徹底により、県の工事評価点が平均で80点以上になり、以前に比べて評価点が10点ほどあがりました。推進メンバーに対して、ISOの認証取得活動を通じて話をしやすくなりました。また毎月1回、全体会議の前に推進メンバーでミーティングをするようになり、全社的にコミュニケーションを図ることができるようになりました。

『現在、運用上の問題はありますか?』

現場においても、ISOの実施を確実に行ってくれるようになりましたが、推進メンバーのように自ら改善点を見つけて、意見を言ってもらえるまでにはなっていません。

『今後、社員の皆様へ望んでいることは何でしょうか?』

社員全体のレベルをあげて、皆で意見を出し合い、全ての社員さんを推進メンバーのレベルに近づけて、ISOをよりよいものに改良していきたいです。

『御社の今後の抱負をお聞かせください。』

お互いが切磋琢磨して、自己を伸ばすような会社にしていきたいです。また、ひとりひとりが意見を出さないと本当の意味で会社は変わらないので、社員の意見を反映できるように、ほんの些細なことも意見として出し合えるような会社づくりをしていきたいと思っています。

ISO9001 認定登録日：2003年2月25日

審査機関：KHK

取得期間：約8ヶ月

